

## 当スタジオのレコーディング（録音）の種類と方法について

当スタジオでは、レコーディング価格表にもある通り、レコーディングを何種類かに分類しています。ひとくちに、レコーディングといってもバンドの録音、カラオケの録音、またテープ編集など多種にわたり曲を仕上げるにも数時間で出来る場合や何日もかかる場合もあり、一概に「レコーディングがいくらでできますか」と聞かれるのがいちばん困ります。やってみなければ分からないではお互い困るので、当スタジオではこのように分類し、時間単位で料金を設定しています。自分たちがどんなレコーディングを望んでいるのか、何を目的にしようとしているのかを考えお気軽に当スタジオにお問い合わせ下さい。

では、ここでレコーディングの種類と方法について説明いたします。

### 1-1 スペシャルパック & エコノミーパック / 24ch

当スタジオでは、バンド等のマルチ録音のパックとして、スペシャルパックを用意しています。この録音方法は、楽器（音源）別に各トラック（現在24ch）に録音し、その後でミックスダウンという作業により、ステレオ（モノラル）の曲に仕上げる方法です。この方法では、ミックスダウン時に自分の好きな音楽（音）にするため、イコライジングやエフェクターをかけたりに出来るのでバランスのよい曲に仕上がります。

（CDを製作したり、オーディション用のデモテープの製作に最適といえます。）

また、マルチ録音する場合にも二つの方法があります。ひとつは、クリックに合わせてドラム又はドラムとベースなどのリズム楽器を録音し、その後ギター、キーボード、歌などを順番に録音する方法です。そしてもうひとつ（エコノミーパック）は、ドラム、ベース、キーボードはAスタジオで、ギターはAブースで、そしてボーカルは、Bスタジオで一緒に演奏し、それをマルチ録音してからその他の楽器等をかぶせたり、パート別に修正したりする方法です。

前者は一般的な方法ですが、曲にのりが欲しいという場合は、後者の方法で録音する場合があります。

詳しくは、「レコーディング進行について」をご覧ください。

### 1-2 イージーパック / ST or Mono

格安の録音方法がイージーパックです。この方法は、スタジオで演奏中の音楽を直接録音してしまう方法ですが、それなりに十分な音質で録音できます。自分たちのバンドの演奏を第三者として生で聞くことは出来ません。そこで、録音してみて客観的に聞くことによって、曲全体の完成度や欠点など、改善するポイントがみえてきます。また、練習だけでなく録音してあとでじっくり聞き直してみるにより、個人の個人の練習すべき点、各パートの音色や役割、アレンジにおける注意点などが明確になりバンドとしてより成長することができると思います。

ラジカセ等で録音するのもいいと思いますが、音のバランスによって曲のイメージも変わり細かい部分が分かりません。音の調整に多少時間がかかりますが、格安な料金ですから時間を気にせず何曲でも出来るので一度おためし下さい。